

大日精化工業株式会社

2024年3月期 決算補足説明資料

証券コード：4116

2024年5月15日

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



Dainichiseika

連結損益計算書

- ・売上高 : 下期以降、自動車向け回復、液晶ディスプレイ向けは期初から回復も下期に再び調整局面へ
- ・営業利益 : 数量減も販売価格の改定、費用減（労務費・償却費）により増益
- ・経常利益 : 持分法投資損失△3.3億円
- ・当期純利益 : 特別利益に政策保有株式売却益23億円、特別損失に減損損失22億円を計上

単位：億円・切捨	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	増減	増減率
売上高*1	1,220	1,198	△21	△1.8%
営業利益	26	45	+19	+72.7%
経常利益	33	50	+16	+48.3%
親会社株主に係る当期純利益	20	36	+16	+82.3%
EBITDA*2	82	97	+15	+18.3%
研究開発費	29	30	+0	+2.0%
海外売上高比率	27.2%	24.6%	△2.6	-
1株当たり当期純利益	108.58円	207.95円	+99.37円	+91.5%
為替レート	\$ 134.77円 €140.00円	\$ 143.34円 €156.74円	8.57円円安 16.74円円安	
ナフサ価格	76,625円	69,100円	△7,525円	

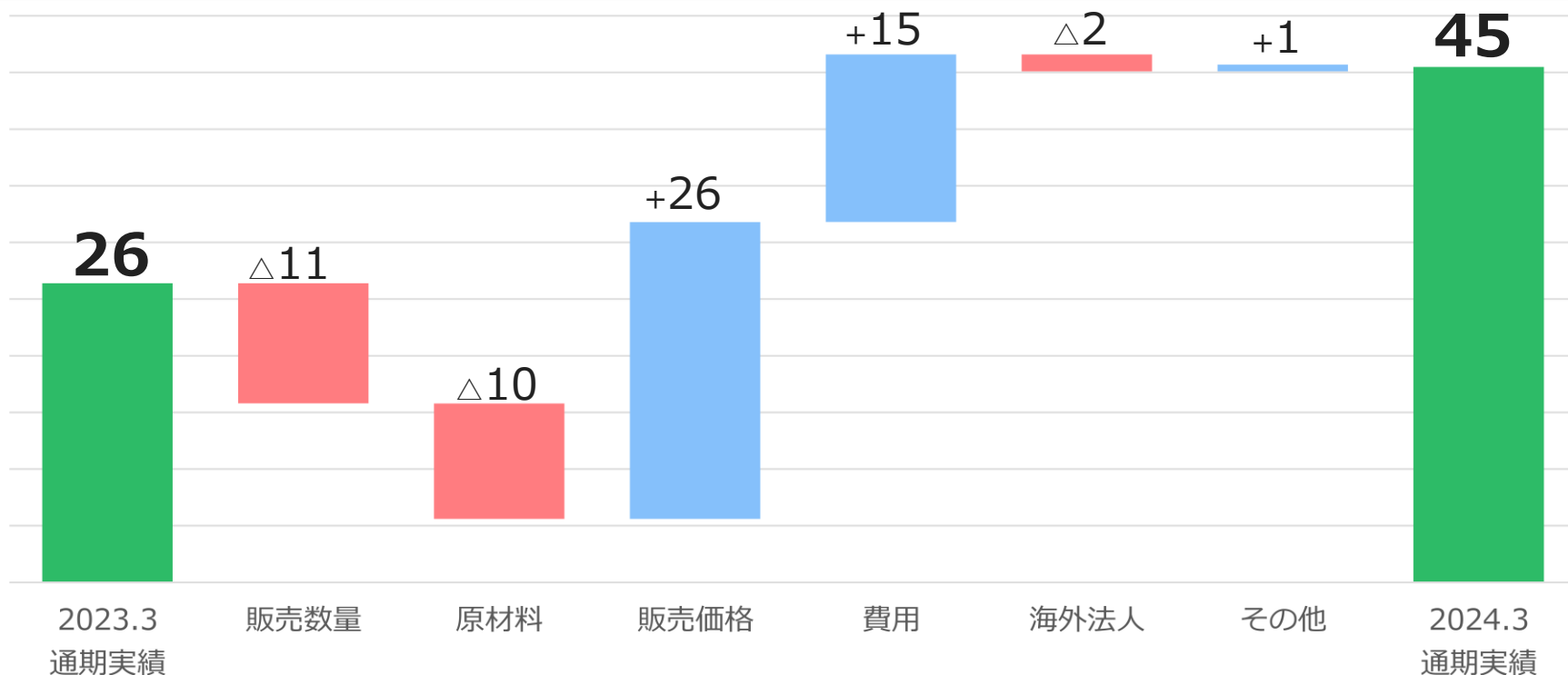
* 1 「収益認識会計基準」適用により、売上高に含まれる有償受給材料を売上原価と相殺表示している金額 2023年3月期 472億円 2024年3月期 410億円

* 2 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

連結営業利益の増減要因 (前期・当期実績比較)

- ・販売数量 : 自動車向け好調、液晶パネル向け上期好調も下期調整物価高による消費低迷を受け包装・建材向けが低調
- ・原材料、販売価格 : 原材料価格高止まり、販売価格には2023年3月期以前の交渉妥結分を含む
- ・費用 : 労務費及び減価償却費の減少
- ・海外法人 : インドネシア販売価格改定等により採算改善、華南低調により減益

単位：億円



セグメント別概況（サマリー）

- ・C&F：自動車向け下期回復も4Qに失速、液晶ディスプレイ向け想定より早く回復も長続きせず減収
営業利益は販売価格の改定が進み増益
- ・P&C：自動車向け好調、液晶ディスプレイ向け販売数量増により増収増益
- ・G&P：物価高による買い控えにより販売数量減により減収、インドネシアで採算改善が進み損失縮小

売上高 単位：億円・切捨	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	増減	増減率
カラー&ファンクショナル プロダクト（C&F）	672	655	△16	△2.5%
ポリマー&コーティング マテリアル（P&C）	236	239	+2	+1.1%
グラフィック&プリンティング マテリアル（G&P）	310	303	△7	△2.4%
売上高	1,220	1,198	△21	△1.8%

営業利益

単位：億円・切捨

カラー&ファンクショナル プロダクト（C&F）	20	24	+4	+22.4%
ポリマー&コーティング マテリアル（P&C）	19	26	+6	+34.5%
グラフィック&プリンティング マテリアル（G&P）	△13	△5	+8	-
営業利益	26	45	+19	+72.7%

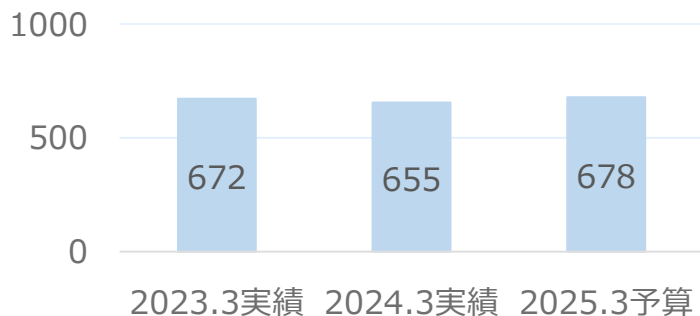
セグメント別概況（カラー&ファンクショナルプロダクト）

Color & Functional Products 顔料及び顔料の2次加工製品

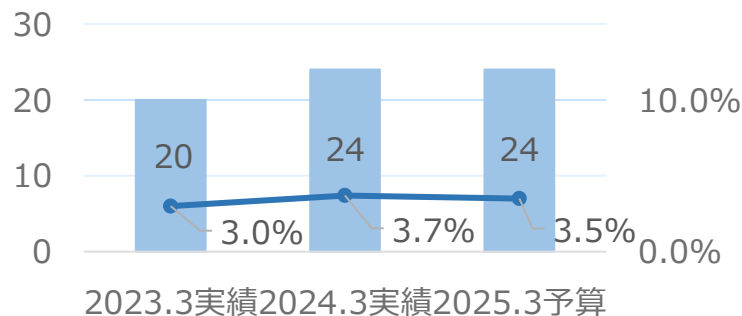
情報・電子業界、自動車業界向けを中心に付加価値の高い製品をグローバルに展開

戦略製品	2024.3実績 コメント
インクジェット用顔料・分散液	海外の新テーマの立ち上げが遅延も、国内は堅調な動きが継続した。
カラーフィルター用顔料	下期は若干数量減も、通期ではサプライチェーンの在庫消化に伴い好調に推移した。
自動車用コンパウンド・着色剤	中国経済の低迷、能登地震による減産の影響を若干受けたが、自動車生産の持ち直しにより回復。
機能性材料	化粧品材料は、一部で新規採用もあり、今後は技術優位性の獲得と生産プロセスの最適化に注力する。

売上高（億円）



営業利益（億円）・営業利益率（%）



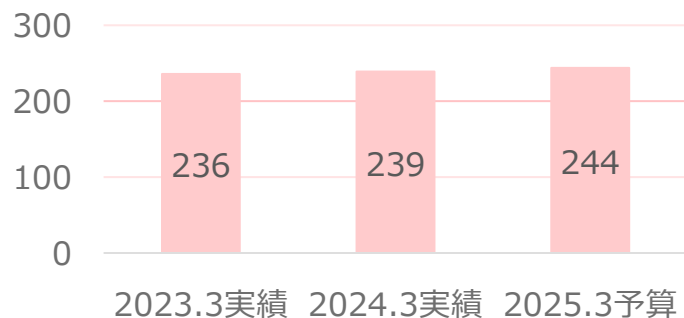
セグメント別概況（ポリマー&コーティングマテリアル）

Polymer & Coating Materials 合成樹脂及び特殊コーティング剤

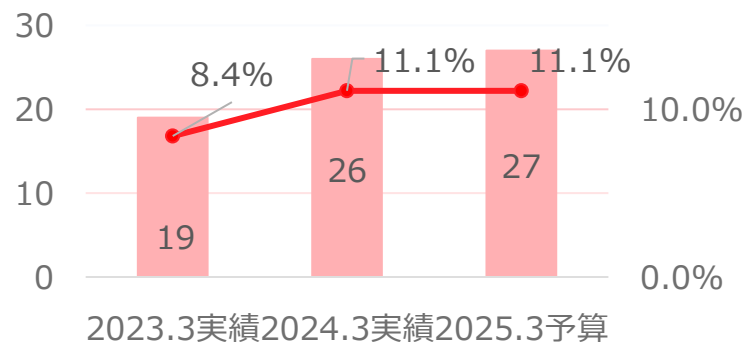
ウレタン樹脂の幅広い品揃えを活かした拡販戦略、特徴のある独自性の高い製品の開発及び展開

戦略製品	2024.3実績 コメント
高耐久性ウレタン樹脂	自動車は北米向けが好調で、表面処理剤が伸長。アパレル向けは、一部で需要低迷の影響を受けたが、概ね堅調に推移した。
環境対応型ウレタン樹脂	サステナビリティ製品である水性の表面処理剤が日本、中国、米国で伸長した。
耐熱性高機能樹脂	一部で計画が遅延も、高機能化が進むスマートフォン向けは堅調に推移。
情報・電子業界向けコート剤	サプライチェーンの在庫消化に伴い期初より好調も、第4四半期は市況低迷により低調に推移した。

売上高（億円）



営業利益（億円）・営業利益率（%）



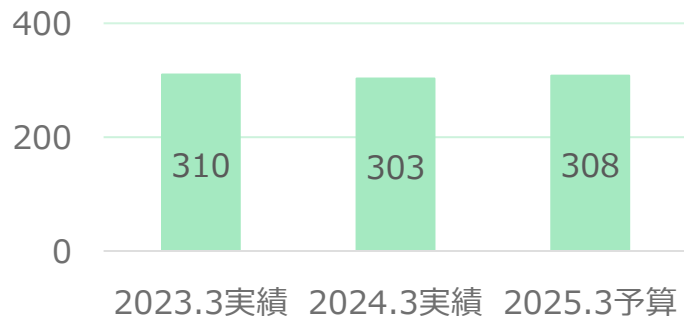
セグメント別概況（グラフィック&プリンティングマテリアル）

Graphic & Printing Materials パッケージ用及び広告出版用インキ

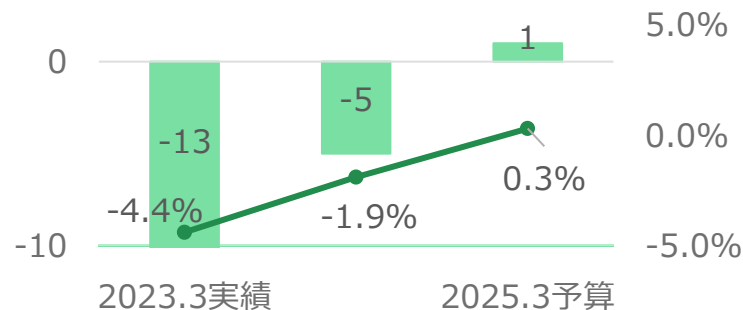
国内は強みのある製品と成長が見込める分野に注力、海外は積極的な拡販策で収益を改善

戦略製品	2024.3実績 コメント
ラベル用インキ、水性フレキソ	ラベル市場向けは、ラベル面積の拡大もあり、概ね堅調に推移。水性フレキソインキもオムツ向けが堅調。
成長分野への拡販	情報・電子向けはスマートフォン用が中心。中国向けが前期は低調も、今期は回復した。
アジア向けインキ	価格競争が厳しく数量減も、販売価格の適正化が進み増益を達成した。

売上高（億円）



営業利益（億円）・営業利益率（%）



連結貸借対照表

- ・資産 : 総資産増・期末休日により「売掛債権」増加・「有形固定資産」は減損損失計上により減少
政策保有株式売却進むも株価上昇により「投資有価証券」増加・年金資産運用好調により「退職給付に係る資産」増加
- ・負債 : 負債減少・「有利子負債」の返済済み減少
- ・純資産 : 純資産増加・配当金前期末@40円、中間@40円実施、自己株式買付△28億円
円安、株高により「その他の包括利益累計額」が増加

単位：億円・切捨	2023年3月期	2024年3月期	前年度末比 増減	2023年3月期	2024年3月期	前年度末比 増減	
流動資産	1,102	1,096	△6	流動負債	535	560	+25
固定資産	825	852	+27	固定負債	249	195	△53
有形	497	478	△19	負債	784	756	△27
無形	13	11	△2	有利子負債	309	252	△57
投資	313	362	+48	純資産	1,143	1,191	+48
資産	1,927	1,948	+20	負債・純資産	1,927	1,948	+20

	2023年3月期	2024年3月期	増減	説明
DEレシオ	0.28	0.22	△0.06	有利子負債÷純資産
自己資本比率	58.1%	59.9%	+1.8	自己資本÷負債・純資産
BPS	6,060.11	6,804.81	+744.70	純資産÷期末株式数
期末株価	1,783.00	2,985.00	+1,202.00	
PBR	0.29	0.44	+0.15	期末株価÷BPS
ROA	1.7%	2.6%	+0.9	経常利益÷期中平均資産×100
ROE	1.8%	3.2%	+1.4	当期純利益÷期中平均自己資本

連結キャッシュフロー計算書

- ・営業CF：税金等調整前当期純利益+53・減価償却費+51・運転資本(売掛・買掛・在庫)△5
- ・投資CF：株式売却+33・土地売却+13・設備投資△44
- ・財務CF：長短借入金返済△55・配当金支払い△14・自己株式の取得△28

単位：億円・切捨	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	増減	増減率
営業CF	+30	+90	+60	+200.5%
投資CF	△21	△14	+7	△34.2%
財務CF	△38	△102	△63	+166.1%
現金及び現金同等 物の期末残高	231	214	△16	△7.3%

債務償還年数*1	10.3年	2.8年	△7.5
インタレスト・ カバレッジ・レシオ*2	10.3倍	32.4倍	+22.1

*1 債務償還年数 = 有利子負債 ÷ 営業CF

*2 インタレスト・カバレッジ・レシオ = 営業CF ÷ 支払利息

株主還元

1. 2024年3月期の期末配当について

- ・ 1株当たり70円（普通配当40円+特別配当30円） * 1株当たり年間配当金額110円(うち中間配当40円)
- ・ 「3. 特別配当について」に記載のとおり、特別配当として1株当たり30円を実施

2. 2025年3月期以降の株主還元方針について

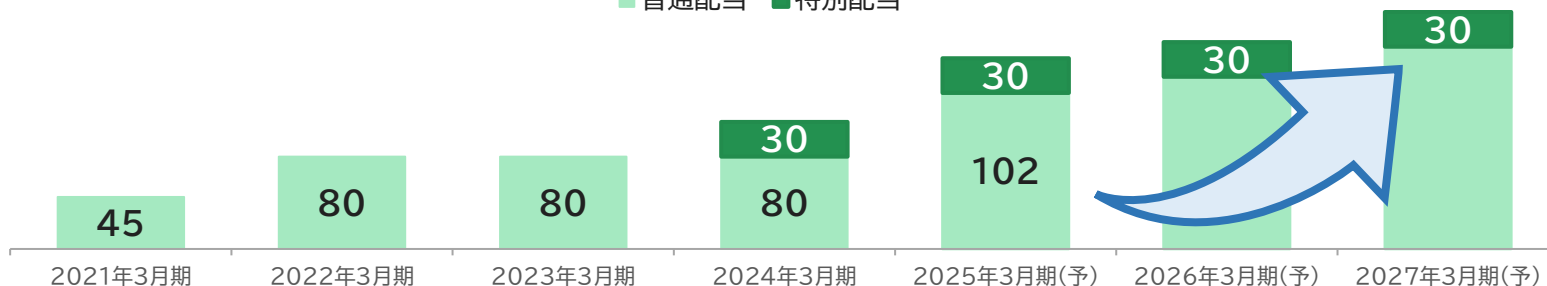
- ・ 総還元性向40～50%もしくは1株当たり配当金100円を下限とする普通配当を予定
- ・ 2025年3月期については、当社川口製造事業所譲渡に伴う特別利益を普通配当の原資から除外
- ・ 自己株式の取得を機動的に実施

3. 特別配当について

- ・ 当社川口製造事業所の譲渡に伴い、2025年3月期に特別利益として約77億円の計上を予定
- ・ 当該譲渡に伴う株主還元は、2024年3月期から2027年3月期の4期間にわたり、毎期1株当たり30円の特別配当（総額約20億円）として実施

1株当たり配当金の推移(円)

■ 普通配当 ■ 特別配当



1株当たり配当(円)	45	80	80	110	132	総還元性向基準 +30	総還元性向基準 +30
配当性向(%)	13.2%	24.0%	73.7%	52.9%	23.3%*	40~50% +α	40~50% +α

*2025年3月期の普通配当予想102円は、親会社株主に係る当期純利益予想から川口製造事業所売却益(法人税控除後)を控除した金額に対して配当性向40%相当額となります。

業績予想

- ・売上高 : 自動車向け好調、液晶パネル向け緩やかに回復、包装・建材向けは横ばい
- ・営業利益 : 原材料価格高止まりも、販売価格の改定と販売数量の増加により増益
- ・当期純利益 : 特別利益に川口製造事業所売却益77億計上見込

単位：億円・切捨	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	増減	増減率
売上高	1,198	1,230	+31	+2.7%
営業利益	45	52	+6	+14.3%
経常利益	50	58	+7	+15.9%
親会社株主に係る当期純利益	36	97	+60	+165.0%
EBITDA*	97	100	+2	+2.8%
1株当たり当期純利益	207.95円	565.38円	+357.43円	-
為替レート	\$ 143.34円 €156.74円	\$ 140.00円 €153.00円	3.34円高 3.74円高	
ナフサ価格	69,100円	72,000円	+2,900円	

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

業績予想（セグメント別）

- ・共通：全セグメントとも販売数量の増加を見込むも、労務費等増加により前期比は小幅増益
- ・G&P：坂東移転完了による合理化効果により営業黒字化

売上高 単位：億円・切捨	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	増減	増減率
カラー&ファンクショナル プロダクト（C&F）	655	678	+22	+3.9%
ポリマー&コーティング マテリアル（P&C）	239	244	+4	+2.1%
グラフィック&プリンティング マテリアル（G&P）	303	308	+4	+1.6%
売上高	1,198	1,230	+31	+2.7%

営業利益

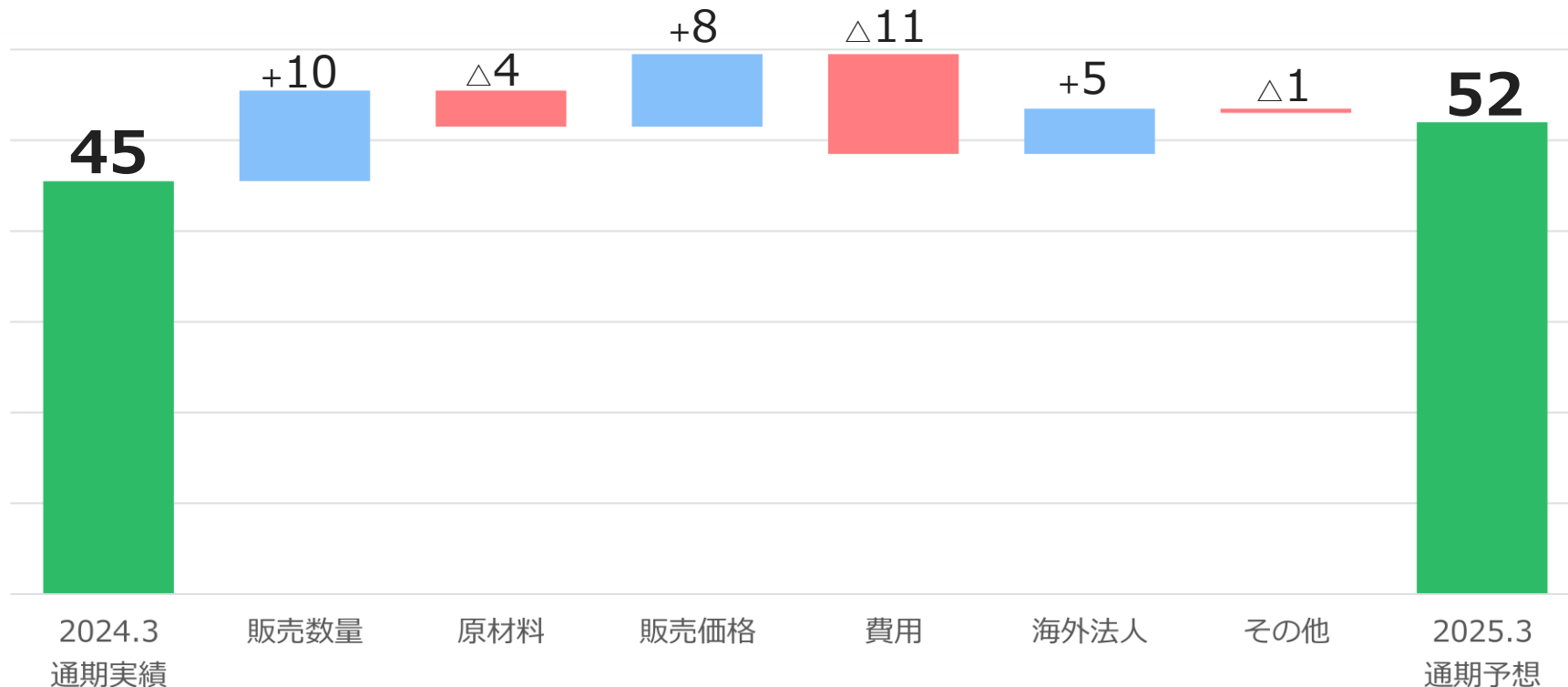
単位：億円・切捨

カラー&ファンクショナル プロダクト（C&F）	24	24	△0	△2.2%
ポリマー&コーティング マテリアル（P&C）	26	27	+0	+1.5%
グラフィック&プリンティング マテリアル（G&P）	△5	1	+6	-
営業利益	45	52	+6	+14.3%

業績予想（連結営業利益の増減要因（当期実績・翌期予想））

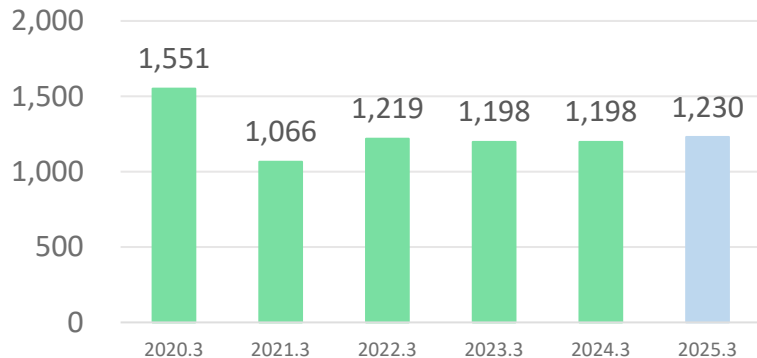
- ・販売数量 : 自動車向け好調、液晶パネル向け緩やかに回復
- ・原材料、販売価格 : 原材料価格高止まり、販売価格の改定進める
- ・費用 : 坂東移転完了により合理化効果、労務費（賞与・ベースアップ）増加
- ・海外法人 : インドネシアのグラビアインキ、タイ・台湾のコンパウンド・着色剤等増益見込み

単位：億円



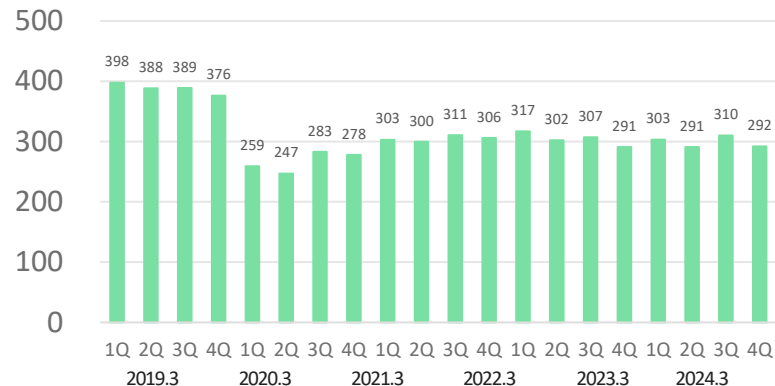
業績推移 (通期・四半期)

売上高・通期 (単位：億円)

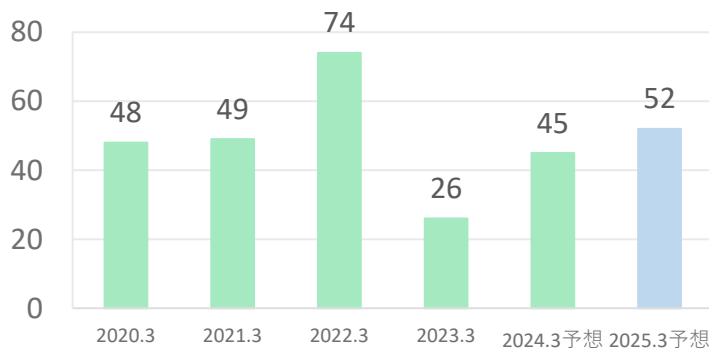


※2021年3月期以降の通期及び四半期売上高は「収益認識に関する会計基準」を適用後の数値

売上高・四半期 (単位：億円)



営業利益・通期 (単位：億円)



営業利益・四半期 (単位：億円)

